



## 【教育目標】

心豊かに学び、たくましいジッダっ子の育成

令和元年(2019年)12月19日 NO.10

TEL 664-3437 FAX 664-2963

HP <http://jjs-japan.com>

E-mail [jjssa@jjs-japan.com](mailto:jjssa@jjs-japan.com)

## 「実りの2学期」無事終了！

本日、無事に2学期の終業式を迎えました。

児童生徒一人ひとりに渡される本校の通知表は、日本の学校とはひと味違います。それは、学級担任だけでなく、それぞれの教科で指導している教科担任のコメントも書かれていることと、この2学期に一生懸命取り組んだことや一番の思い出など、一人ひとりの思いがぎっしりと詰まっていることです。私も、全員の通知表に目を通しましたが、どの子も「感謝する心」「挑戦する勇氣」で満ちあふれていることが分かりました。特に、通知表の中の児童生徒の作文を読んだとき、思わず涙があふれてきました。どの子もすばらしい努力を積み重ねていること、本気になって一生懸命学んでいることを再認識し、そして子ども達を誇りに思いました。

この2学期、悲しかったことや悩んだこともあったことでしょう。しかし、それらのことを乗り越えて2学期を充実したものにしたのは、児童生徒の底力です。この底力は、ご家庭のご支援やご指導なくしては生まれません。毎朝、児童生徒のお弁当を作り、「行ってらっしゃい。」と学校へ送り出し、「おかえりなさい。」と迎えていただいた保護者の皆様に心から感謝いたします。このような保護者の皆様の愛情に包まれながら、子どもたちはすくすくと健全に育っているのだと確信しています。

また、子どもたちは、日本とは異なる環境の中でも元気いっぱいたくましく生活しています。その中で、一緒にスポーツを楽しんだり遊んだり、日本人会のさまざまな活動に参加したりして、たくさんの方々とふれあいや結びつきを通して子どもたちは大きく成長し続けています。このような環境こそ、児童生徒の社会性や人間関係力の育成に大きく寄与していると感じています。本当にありがたいことです。

時には厳しく、時には優しく、愛情の表現はいろいろと変化するものですが、根底に流れるものは、保護者の皆様も私たち派遣教員も同じです。これからも、児童生徒の成長のために精一杯力を尽くして参ります。

## 終業式で児童生徒に伝えたこと

- (1) 2学期の初めに新しいお友達との出会いがあり、そして今日、ずっと一緒に仲良く過ごしたお友達との別れがありました。人生における「出会いと別れ」を、これからの成長の糧にしよう。
- (2) 「み・の・り(実り)多き2学期」・・・「みんなが、伸び伸びと、立派に」成長した2学期。自分なりの目標や願いを持ち、その実現に向けてよく考え、本気になって全力で取り組み、きちんと振り返りをし、中間の頑張りや良さを認め、ほめられたことを素直に喜び、さらに努力を重ねてきた自分に拍手！！
- (3) 「家族との絆」がさらに深まるステキな休みにしましょう。

それでは皆さん、3学期も元気に笑顔で再会しましょう。よいお年をお迎えください。



## 令和元年度 海外子女教育振興財団 文芸作品コンクール 受賞結果

★学校の部(224校の応募から選出)

・6年連続「学校賞」受賞!!

★個人の部(3万8620点から選出)

- ・小学1年生 短歌の部 クラーク記念国際高等学校賞  
山田 果歩さん
- ・小学4年生 詩の部 佳作 宮崎 結麻さん  
作文の部 佳作 宮崎 結麻さん
- ・小学5年生 作文の部 優秀 平田 ころろさん
- ・中学3年生 詩の部 日本放送協会賞  
平田 愛さん  
短歌の部 特選 平田 愛さん



ありがとう

